

ボールの特性レポート

BALL REPORT



ボール名	パワーマシン	投球者	徳江 和則	センター	平和島スターボウル
RG	2.510	△RG	0.054	●ピン ★PAP ✕CG ■バランスホール	

テストボール

フレアーの幅 インチ

PAPからピンとの距離 インチ

表面加工

- 箱出し状態
- 加工
- ペーパー
- ポリッシュ

番

研磨剤

比較対照ボール：ストライクマシン

フレアーの幅 インチ

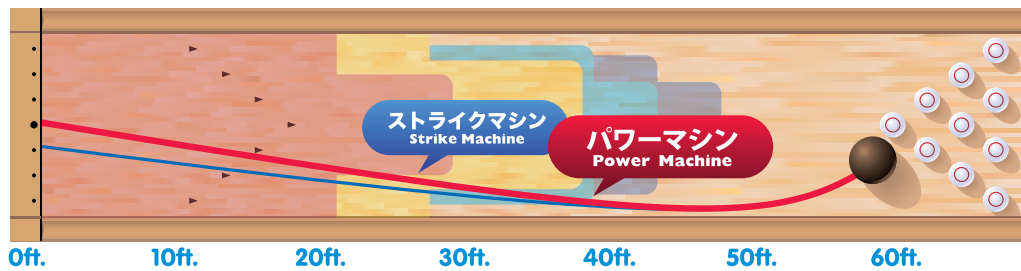
PAPからピンとの距離 インチ

表面加工

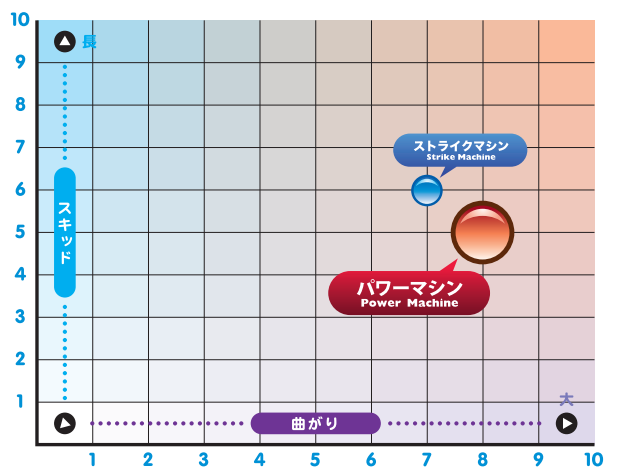
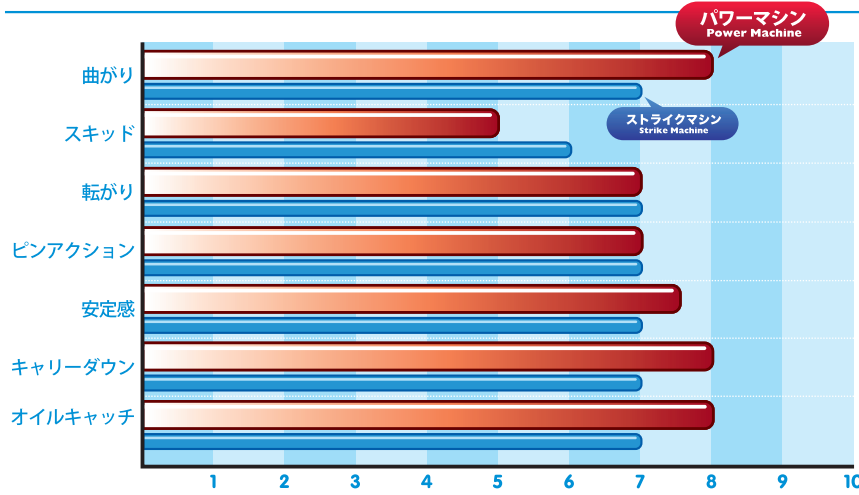
- 箱出し状態
- 加工
- ペーパー
- ポリッシュ

番

研磨剤



- ヘビー
- ミディアム
- ライト
- バフ



レーンコンディション

バックエンドリアクション

レンジス

Light Oil, Light to Medium, Medium Oil, Medium to Heavy, Heavy Oil

Smooth, Smooth to Arc, Arc, Arc to Sharp, Sharp Angle

Early Roll, Early to Med, Med-Lane, Med to Late, Late Roll

ボールの評価

絶大なる人気を誇り、即日完売に至ったストライクマシンのバックエンドの過激さは今も目に焼きついてます。バックエンドで過激な性能に傾くほどオイルに左右される傾向になり、オイルの濃淡に過激に反応しないボールとしてミーンマシンが誕生しました。二つのボールを使用された方の感想で、「ストライクマシンのようなバックエンドリアクションで、ミーンマシンよりもちょっとスキッドが欲しい」という声を数多く聞き、開発チームは即時それに見合うだけのボールの開発に着手致しました。今回、バックエンドリアクションはストライクマシンそのもので、スキッド感がストライクマシンとミーンマシンの中間のボールのパワーマシンを発表いたします。**心臓部のロボコアの数値をストライクマシンに近付け、そのパワーをスキッド・バックエンドリアクションにバランス良く与えられるだけのVector SF(Super Flip)というカバーストックを採用し、結果、ストライクマシンを彷彿させるバックエンドリアクションと、オイルに左右されにくい双方を兼ね備えたボールに仕上がりました。**投球したイメージはストライクマシンでかかってしまうキャリアダウンには反応せず、しっかりと角のでるリアクションが得られる感じで、コンディションによっては**ミーンマシンより曲がるイメージが持てるボール**です。パープルとシルバーのマーブルでより一層転がって見えますので、転がり感を気にしている方にもオススメです。

特記事項

ストライクマシンのバックエンドリアクションをそのままに、オイルに対しての強さとスキッド感をバランスよく仕上げました。ストライクマシンを買いそびれた方、マシンファンの方。是非お試しください。